

## 講義概要

第1回	講演者は岐阜県内を中心に動植物における生物多様性をテーマに自然環境調査を行っており、フィールド調査で撮影した写真は、webサイト「理科教材データベース」で各種図鑑として公開しています ( <a href="http://www.ha.shotoku.ac.jp/~kawa/">http://www.ha.shotoku.ac.jp/~kawa/</a> )。それを踏まえ、自然観察の仕方や視点、出会った珍しい生き物について講義を行います。特に、最近ではハチ(膜翅目昆虫)の生態調査を行っていますが、2010年ごろからは地衣類調査を始め、岐阜県内に生育する新種をいくつか発見しました。地衣類は、菌類と藻類が共生する地衣類は不思議な生き物であり、自然環境の変化に敏感です。
第2回	岐阜サランカホールのパイプオルガンに代表されるオルガン建造家の草分け、故辻宏氏(辻オルガン)は、岐阜県加茂郡白川町で活動していました。普段、触れることができないパイプオルガンと、その音楽の魅力を実際に鑑賞し解説します。またクラシックのみに留まらず童謡、演歌、ポップスなどの様々なジャンルにおいてパイプオルガンの音楽教育における可能性を考えていきます。
第3回	主に障害者を対象としたバリアフリー化の流れに加えて、近年ではユニバーサル・デザインの普及が急がれています。この動きには、高齢者の増加はもとより、外国からの労働者、留学生、観光客の増加など社会経済のグローバル化の進展が背景にあります。この傾向は岐阜県においても例外ではなく、本報告はこうした認識のもとに、東濃5市における公共インフラ、商業施設、観光地施設についてユニバーサル・デザインへの配慮度合いを調査した結果を報告します。
第4回	高齢者の健康づくりを目指して、「健康寿命の延伸」が目標となります。加齢による運動器機能不全をロコモティブシンドローム(ロコモ)と呼びます。県内で実施したロコモのトライアル調査結果を報告し、ロコモ度テストやロコモ体操を紹介し、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を延ばすための健康な身体づくりをご紹介します。
第5回	近年、岐阜県の硬式野球は、中京学院大学、西濃運輸の皆さんのご努力によって見事、初の全国制覇を成し遂げられました。また、軟式野球では延長50回の準決勝戦後、7回目の優勝の中京高校など、全国の野球関係者から注目されている県の一つと言えます。明治17年、岐阜中学(現在の岐阜高校)で中学野球が産声をあげ、大正4年に豊中球場で第1回の全国中等学校野球大会(現在の夏の甲子園大会)が開始されて100年を迎えました。高校野球を中心に岐阜県の歴史を振り返り、今後の活躍に期待したいと思います。
第6回	日本書紀には天武天皇が美濃に百済の僧を派遣してオクラを煎じさせたとのくだりがあり、また、伊吹山あたりに織田信長が薬草園を作らせたとの説もあります。実際、岐阜県と滋賀県にまたがる伊吹山には多くの薬草が自生し、古くから利用されてきました。今は身の回りの薬草を積極的に使うことはなくなってしまいましたが、気づかないところで現役に活躍している薬草はたくさんあります。本講義では、そんな薬草を少し紹介します。
第7回	岐阜県は、美しい自然に恵まれ、豊かな森を源とする清流が県内をあまねく流れる「清流の国」です。この素晴らしい環境の大切さを再認識し、環境を守り新たな世代へと引き継いでいくため、皆さまと一緒に進めていきたい施策や、私たち一人ひとりが実践できる取り組みについてご紹介します。
第8回	岐阜県の有効求人倍率は全国でも2番目の高さになっています。岐阜県に限らず、地方では景気回復はそれほど堅調ではありませんが、若年人口が減少することで、求職者が減少し、有効求人倍率が高まっているという可能性があります。そこで、岐阜県での中期的な労働市場データをもとに、若年人口減による人手不足問題の岐阜県の状況について分析をします。また、全国との状況と比較しつつ、就業により移住・定住者を増やす可能性についても言及します。
第9回	我が国の食料自給率はカロリーベースで39%です(H27年概算値)。一方、岐阜県の食料自給率は国の自給率を大きく下回り25%(H26概算値)です。私たちは、そんなに多くの食品を輸入や他県に頼っているのでしょうか。スーパーマーケットの新聞折り込みチラシを用いて、身の回りの食べ物の出所を参加者全員で調べてみます。岐阜県そして日本の食べ物の現状、あるいは岐阜県の食料自給率が低い理由をワークショップ形式で考えます。
第10回	産業遺産は、今、日本でも世界遺産に指定されるなど注目されるようになってきました。産業革命遺産という言い方もありますが、産業革命は、道具から機械への転換、資本主義の確立過程のことですが、産業遺産とはその産業革命の歴史を示す遺跡です。岐阜県は産業遺産の宝庫でもあります。旧揖斐川橋梁、美濃橋など、国の重要文化財も多数あります。岐阜県内の産業遺産を保存動向も含め、紹介したいと思います。
第11回	『解析概論』『代数的整数論』など今でも名著とされる数学教科書を著した高木貞治は、第1回フィールズ賞選考委員を務め、文化勲章も受章している岐阜県出身の日本を代表する著名な数学者です。岐阜工業高等専門学校では、地理的に高木貞治の生家と近いことが縁となり、本県市に協力して数学による地域おこしの取組を行っています。本講義では、これらの内容や岐阜県大垣市のソフトピアジャパンとの連携した取組の内容などを紹介します。

※各回とも募集定員は50名(先着順)です。

## 会場案内図



### 岐阜大学サテライトキャンパス

(岐阜市吉野町6-31 岐阜スカイウイング37東棟4階)

会場である岐阜大学サテライトキャンパスへは、岐阜スカイウイング37東棟のエレベーターにて、4階までお越しください。エレベーターを4階で降りていただき、右手にお進みいただくと、岐阜大学サテライトキャンパスに到着します。

お車でお越しの際は、近隣の駐車場をご利用ください。

## 申込方法

1. ネットワーク大学コンソーシアム岐阜ホームページの申込フォームから申込
2. 電話・FAX・メールのいずれかにて下記の情報をコンソーシアム事務局まで連絡

## FAX用 受講申込書 (FAX送付先番号: 058-212-0391)

以下のとおり、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度公開講座(岐阜を知ろう)に参加を申し込みます。

お名前(フリガナ)	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
電話番号	
メールアドレス(任意)	<input type="checkbox"/> オンデマンド配信を希望します
住所	〒 -
年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60歳以上
個人情報の同意	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜から他の講義や口座情報をご案内するため、お名前・住所等を利用させていただいてよろしいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない

お申し込み時にいただいた個人情報は、講座担当大学等と共有させていただく場合があるほか、休校など講座に関するご連絡やコンソーシアムからのイベント情報のご案内(同意を得た方のみ)に利用させていただきます。情報は厳重に管理し、法令上の理由など特段の事情がない限り許可なく第三者への提供はいたしません。